

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 48 回 LLW 放射能評価分科会議事録

1. 日時： 2022 年 7 月 21 日（木） 10 時 30 分～12 時 00 分

2. 場所： Webex ソフトを使用しての Web 会議

3. 出席者（順不同，敬称略）

（委員） 高橋（主査），相澤（副主査），泉田，大畑，尾崎，小澤，佐々木，田辺，中田，原賀，松井，伴場，見上，三宅，吉岡（15 名）

（欠席委員） なし

（委員候補者） 新崎，菅原，鈴木，中林（4 名）

（常時参加者） 小瀬村，竹内，中瀬，中野，野崎，野田，林^(隆)，林^(宏)，古田，宮田，村上，本山（12 名）

（常時参加者候補者） 高橋（1 名）

4. 配付資料

F10Ph2SC48-1 第 47 回 LLW 放射能評価分科会 議事録案

F10Ph2SC48-2 人事について

F10Ph2SC48-参考 1 F10Ph2SC43-4_L1 放射能濃度決定方法の基本手順の NRA 技術評価対応者について（提案）

F10Ph2SC48-参考 2 LLW 放射能評価分科会(F10Ph2SC) 委員名簿

5. 議事

（1）主査挨拶，及び出席委員の確認

冒頭，高橋主査より，L1 放射能評価標準の原子力規制庁による技術評価への対応が当初予定よりも長引いているが，標準をどう育てていくかの観点が大事であり，この点に留意しながら対応していきたい。また，人事異動により，学会対応者メンバーにも変更が生じざるを得ないが，これまでの経験を引き継いでいけるように，総力を結集して対応していきたい。との開会の挨拶があった。

脇幹事の退任に伴い，幹事業務を一時的に代行中の大畑委員より，会合開始時点で，委員 15 名全員が出席しており，定足数(10 名以上)を満足している旨の報告があった。

（2）前回議事録案の確認

前回分科会の議事録案（配布資料 F10Ph2SC48-1）について，大畑委員より，事前送付してコメントがなかった旨説明があり，コメントなく承認された。

（3）人事について（審議）

大畑委員より，F10Ph2SC48-2 に基づき，4 名の委員の退任及び 2 名の常時参加者の登録解除について報告があった。また，4 名の新委員の選任及び 1 名の常時参加者の新規登録について，審議・

投票の結果、了承された。その後、高橋主査及び相澤副主査の協議結果を踏まえて、新崎委員が新幹事に指名された。

上記の人事案件についての報告・審議結果は、8月3日（水）開催予定の原子燃料サイクル専門部会に付議される。

① 委員の退任

佐々木 道也（電力中央研究所）

竹田 安弘（関西電力）

平井 輝幸（東京電力ホールディングス）

脇 寿一（原子力環境整備促進・資金管理センター）

② 常時参加者の登録解除

荒巻 潔（中部電力）

池戸 康樹（中部電力）

③ 新委員の選任

新崎 雅志（原子力環境整備促進・資金管理センター）

菅原 康裕（関西電力）

鈴木 健介（東京電力ホールディングス）

中林 亮（電力中央研究所）

④ 常時参加者の登録

高橋 純平（中部電力）

（4）L1 放射能評価標準の原子力規制庁による技術評価への学会対応者の変更について（審議）

L1 放射能評価標準の原子力規制庁による技術評価への対応者については、竹田委員及び平井委員の委員退任により、2名減となっている。大畑委員より、F10Ph2SC48-参考1に基づき、昨年5月に対応者を選任した時点の状況について説明するとともに、今後の技術評価の見通しについて口頭で説明の後、対応者の変更について審議した。

審議の結果、新崎委員、菅原委員及び鈴木委員の3名を新たに対応者を選任することが了承された。対応者の選任については、標準委員会の承認事項であるため、先ず、8月3日（水）開催予定の原子燃料サイクル専門部会に付議する予定である。

（5）その他

高橋主査より、今回、分科会の体制が変わることになったが、引き継ぎをうまくやっていくので、今後共よろしくお願ひしたい。との閉会の挨拶があった。

次回会合については、高橋主査、相澤副主査及び新崎幹事で調整の上、後日、具体的な日時について連絡されることとなった。

以 上